

2016年3月2日
株式会社日立製作所

青山高原ウインドファーム向け日立 2MW 風力発電システム 18 基が完成

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)は、株式会社青山高原ウインドファーム(取締役社長:中西 正/本社:三重県津市)より新青山高原風力発電所向けに受注した 2MW 風力発電システム(HTW2.0-80)40 基のうち、第 1 期工事分 18 基(36MW)の建設を完了し、本日引き渡しました。今後は、第 2 期工事分 22 基(44MW)の 2017 年 3 月完成に向けて、建設を進めていきます。

青山高原ウインドファームは、三重県伊賀市東部から津市西部にかけて広がる布引山地の一部である青山高原に建てられた集合型風力発電所を運営しており、現在、青山高原風力発電所において、20 基(15MW)の風力発電システムが稼動しています。青山高原は、東西に盆地や平野がひらけており障害物がなく、若狭湾から琵琶湖を経て伊勢湾に抜ける強風が年間を通して吹くことから、国内屈指の好風況とされています。

今回、新たに建設された新青山高原風力発電所では、こうした地形を生かし、2017 年 3 月までに国内最大出力となる 40 基(80MW)の風力発電システムの運転を開始することになっており、日立は、2012 年 12 月に本発電所の造成工事から設計、製造、据付までを受注しました。今回建設を完了した風力発電システムは、そのうち第 1 期工事分の 18 基で、本日から運転が開始されます。

日立が「HTW2.0-80」で採用しているダウンウインド方式は、風見鶏効果による風荷重低減で基礎工事コストを低減できることや、丘陵地など吹上風が吹く地帯での発電効率が良いことが特徴で、これまで 200 基以上の受注実績があります。

日立は、これまで培った電力システム技術を生かして、風力発電をはじめとする自然エネルギー事業を推進し、低炭素社会の実現に貢献していきます。

■照会先

株式会社日立製作所

中部支社 電力部 環境・エネルギーグループ [担当:上村]

〒460-8435 愛知県名古屋市中区栄三丁目 17 番 12 号

電話 052-259-1139 (直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
